

自他を大切にし、よりよい学級・学校生活を築こうとする児童の育成
～自主的・実践的な集団活動を通して～

第5学年 学級活動（1）指導案

令和3年10月20日（水）第5校時
第5学年3組 36名
授業者氏名

1 議題名 「6年生へのサプライズをどのようにするか決めよう！」

2 児童の実態と議題選定の理由

本学級は、男子17名・女子19名、計36名のクラスである。素直で課題に対して真面目に取り組む児童が多い。学年の初めは、クラス替えをしたばかりということもあり、お互いに遠慮して過ごしていたが、5年になって半年が過ぎた今は声をかけ合って活動する姿が多く見られるようになった。委員会活動や南白まつり、南白オリンピックといった行事を通して、自分の役割に責任をもって取り組むことや、下学年に優しく接する姿などが見られ、高学年としての意識も高まってきている。

これまでの学級会では、「南白まつりに出すお店をどのようにするか決めよう」「クラスの Mascot キャラクターを決めよう」「5-3ハッピースマイル会の工夫をしよう」等の議題で話し合ってきた。昨年度までの経験から「出し合う」「比べる」「まとめる」という流れが分かっているため、今年度は出された意見をカテゴリー分けして整理したり、できるだけ多くの意見を生かしたりするにはどのようにするとよいかを話し合ってきた。自分達で計画して実行していく楽しさを実感しているが、その一方で自分の意見に自信をもてなかったり、「反対されるのが嫌」という理由で発言しなかったりする児童も多く、限られた一部の児童の発言で進むこともある。

本議題は、「いろいろな行事がなくなってしまった6年生だけど、委員会でアドバイスをくれたり、下学年に優しくしてくれたりして学校のために頑張ってくれているから、陸上記録会で励ましたい。」という学級全体の思いから提案され、選定した。今回の学級会では、2つのものを客観的に考えて、メリットとデメリットを話し合うことで、より提案理由に迫れるようにする。この学級会を通して、6年生のためにクラスにとってどうすることが良いかを考えて合意形成ができるようにしたい。また、6年生にサプライズをして、自分達の思いを届けることが相手の喜びにつながることを実感させるとともに、相手のために思って活動できることが自分達の良さであるとも実感できるようにしたい。

3 目指す児童像に向けて

① 自分の思いや願いをもって、意欲的に取り組む子

司会グループや実行委員の輪番制（年間）

- ・ 司会グループや学年の実行委員を輪番制にすることで、必ず一人一回は学級や学年のことを人任せにせず、自分事として考える機会を設定している。司会グループには、事前準備をし、話し合いがどう展開するのか予想し、準備をし、学級会のイメージをもたせるようにしている。これらの経験が、学級や学年のために自分はどうしたいのか、どうあるべきなのか思いをもつきっかけとなっている。

実践における役割分担

- ・ 集会活動を行うにあたり、全員で役割分担し、協力して進めていく中で、自分たちで計画したことを実践している意識をもたせ、役割分担の中で自分のよさを発揮できるようにする。
- ・ 学級の一員として、自分がどう取り組むのかを振り返ることができるようにする。

学級会ノートの活用

- ・ 学級会の前に、何を話し合うのかを知り、事前に自分の意見を書けるようにする。
- ・ 事前に自分の意見を短冊に書き写し、挙手をして発言することが苦手な児童の意見も表出できるようにする。
- ・ 自信をもって話し合い活動に参加できるように、学級会ノートに意見を書けなかった児童や不明瞭な意見には、事前に教師から助言をしておくようにする。

- ・ 学級会の準備から実践後の振り返りまで見通せる学級会ノートを活用する。一人一人が活動を見通せるようにすることで、すすんで計画的に準備に取り組んだり、振り返りを次の活動に生かしたりできるようにする。

提案理由の練り上げ

- ・ 提案理由は、発案者の思いを大切にするだけではなく、合意形成するときの基準となるものである。話し合いの中でも、提案理由に基づいて自分の意見を決めるのに、とても重要である。提案理由を自分事とするために、キーワードとなる言葉がどんなことを具体的にさすのか学級全体で確認し、共通理解を図った。

ゴールイメージの共有

- ・ 学級会で話し合ったことを活動した後に、自分達がどのような気持ちや状況になりたいかを学級で共有することで、より提案理由に沿った話し合いができるようにする。

② 自他のよさや差異を認め合い、大切にすること

「私が～」ではなく、「私達が～」という思いをもつ

- ・ 自分だけではなく、客観的に物事が見ることができるよう視点を日常的にもたせるようにする。「私が～～だからです。」という思考から、「私達が～～だからです。」という思考にステップアップできるような指導を、繰り返し行う。そのことで、広い視野をもち「～～のために」という深い思考に移行できるようにする。

学級集会や学年活動の取組（年間）

- ・ 自分たちが目指す学級や学年になるために、どんな取組をしたらよいかを考え、学級会や実行委員会を通じて話し合い、実践を積み重ねている。実践する中で、学級や学年の友達と交流し、よさや差異に気付けるようにする。

振り返りの工夫

- ・ 自分の取組の様子を視覚的にとらえさせるために「学級会ノート」を活用する。「話し合い後」「活動後の2回の振り返りを実施するようにし、全体を通しての自己評価や次回への目標を書く。学級会での自分の取り組みだけではなく、活動後にも振り返ることにより、次回の意欲向上へとつなげていく。

振り返りの共有化（年間）

- ・ 学級や学年での実践を行った後には、今回の取組で達成できたこと、次回生かしたいことなどの振り返りを行っている。振り返りがその場限りにならないように、振り返りノートを活用し共有化を図っている。

日常的に自他のよさを認める活動を行う

- ・ 朝の会や帰りの会、授業の中で、互いを認め合ったことを表現させる時間を設定した。互いに認め合ったことを、発表させるだけではなく、学級掲示板に掲示することで視覚的に認識できるようにした。
- ・ どの授業でも、自分の意見と友達の見解を比べて、同じところや違うところを伝え合うことで、課題に対する深まりをもたせられるような指導を繰り返し行った。そのことで、よさや差異を認め合うことができるようにした。
- ・ 学級の成果を学級全体で共有するために、学級のあゆみを掲示するようになった。

話し合いの言い方の約束

- ・ 自分と同じ意見でも違う意見でも最後まで肯定的に話を聞く。
- ・ 「賛成」「反対」という意見の出し方ではなく、「○○さんの□□をこうしたらもっとよくなるよね。」「じゃあ、こうしたらいいんじゃない。」「みんなにとって～～だから、こうしたほうがいいよね。」というような、深い思考になるような言い方をする。「反対」という相手を攻撃・批難・打ち負かすような話し合いにならないようにする。
- ・ 話し合いが十分になされた上で、決まらない場合は多数決になることも可とする。

教師による価値づけ

- ・教師は、学級会の終末の言葉で、①司会グループの頑張り②フロアの児童の頑張り③活動への意欲等について、具体的に話をして価値づけする。教師の価値づけを通して、児童自身がめざすべき姿を具体的にイメージできるようにする。

4 事前の活動 ○司会活動 ●全体活動

日時・担当	児童の活動	・指導上の留意点	◎目指す児童の姿（観点） 【評価方法】
10/8（金） 中休み	○議題の選定 ・議題案をいくつか選ぶ。 ・選ばれなかった議題案は、各提案者にどう伝えるか伝える。 ・司会グループは役割分担をする。	・議題選びの視点を念頭において、選定することを指導する。	◎よりよい学級（学校）生活をつくるために、進んで議題の選定をしようとしている。 （主体的に取り組む態度） 【提案カード、発言、観察】
10/11（月） 中休み	○活動計画の作成 ●議題の決定 ・提案理由を明確にする。 ●ゴールイメージの共有 ・6年生へどんなサプライズをしたいか各自で考えてくる。（宿題）	・提案者の思いが学級全体の思いになるように、提案理由をしっかりと深める。 ・日時や場所などの条件を教師が設定する。 ・提案理由を意識したサプライズを考えるようにする。	◎「6年生へのサプライズをどのようにするか決めよう！」に向けた話合いの進行の仕方等を理解している。（知識・技能） 【活動計画、発言、観察】 ◎よりよい学級（学校）生活をつくるために、進んで議題の決定をしようとしている。 （主体的に取り組む態度）【発言、観察】 ◎「6年生へのサプライズをどのようにするか決めよう！」に合った意見を考え、判断し、ノートに書くことができる。（思考・判断・表現）【学級会ノート】
10/12（火） 学活	●各自で考えてきたサプライズをプレゼンする。 ●2つにしぼる	・同時にできないものを選択する。	◎提案理由や条件にあった意見を考えている。 【発言、学級会ノート、観察】
10/13（木） ～15（金）	●それぞれのメリット、デメリットを考える	・客観的に考えるように声掛けをする。	◎「6年生へのサプライズを」に合った意見を考え、判断し、ノートに書くことができる。（思考・判断・表現）【学級会ノート】
10/18（月） 中休み	○学級会に向けての準備 ・学級会ノートに目を通し、話合いの進行を確認する。	・出された意見から話し合いの見通しがもてるように助言する。	
10/19（火） 中休み	○学級会に向けての準備 ・学級会の進行の仕方を練習する。	・学級会のイメージをもって、練習ができるようにする。	◎司会・黒板記録・ノート記録の仕事内容を理解している。（知識・技能） 【活動計画・観察】

5 評価規準（第5学年及び第6学年）

観点	よりよい生活や人間関係を築くための知識・技能	集団の一員としての話し合い活動や実践活動を通じた思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
評価規準	みんなで楽しく豊かな学級や学校の生活をつくることの意義や、学級集団としての意見をまとめる話し合い活動の効率的な進め方などについて理解している。	楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために話し合い、自己の役割や責任、集団としてよりよい方法などについて考え、判断し、信頼し支え合って実践している。	学校や学校生活の充実と向上にかかわる問題に関心を持ち、他の児童と協力して自主的に集団生活に取り組もうとしている。

6 本時の活動

(1) ねらい

- ・メリット、デメリットを話し合い、より提案理由に沿った合意形成をすることができる。

(2) 展開

話し合いの順序	指導上の留意点	◎目指す児童の姿 (観点) 【評価方法】
1 始めの言葉 2 司会グループの紹介 3 議題の確認		
	議題：「6年生へのサプライズをどのようにするか決めよう！」	
4 提案理由の確認	6年生はコロナでいろいろな行事ができなくなってしまった。楽しみにしていたことや、やりたかったことがたくさんあると思うけど、そんな中でも責任をもって仕事をしたり、下級生に優しくしてくれたりして、学校のためにがんばってくれている。今回は、学校で陸上記録会をすることが分かったので、6年生にサプライズをして、励ましたいし喜んでほしいと思ったから。	
5 ゴールイメージの確認	・6年生へのサプライズが終わった後に、6年生にどんな気持ちになってもらいたいのか、自分達がどんな気持ちになっていたら良いかを確認することで、より提案理由に沿った話し合いができるようにする。	
6 決まっていることの確認	決まっていること ・10月27日（水）の8時30分～40分 ・5年生で行う（何をするかは各クラスで決める） ・ベランダには「ありがとう」 ・準備は4日間	
7 話し合い 「『応援団』と『三原色を踊る』のメリット、デメリットを話し合っ、6年生へのサプライズをどのようにするか決めよう」	・提案理由を意識したメリット、デメリットを話しているか見守る。 ・児童の発言や行動、表情、つぶやきなどを記録し、終末の助言に生かす。	◎自分と違った意見も大切にしながら話し合っている。(主体的) 【観察・学級会ノート】 ◎話し合いの進め方や約束を理解している。(知識・技能) 【観察】
8 決まったことの発表		

9 振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・学級会ノートに、今回の話合いでの振り返りを記入させる。 ・具体的に児童の名前を挙げて称賛することで、児童に自信をもたせ、次回の学級活動への意欲をもてるようにする。 ・必要に応じて課題を投げかける。 	
10 先生の話		
11 終わりの言葉		

7 事後の活動 ○司会グループ ●全体

日時・担当	児童の活動	・指導上の留意点	◎目指す児童の姿（観点） 【評価方法】
10/21（木） ～ 10/26（火）	<ul style="list-style-type: none"> ●集会活動に向けての準備 ・ 役割分担をする。 ・ 細かい流れを相談する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全員が準備に関わるように声をかける。 	◎合意形成したことをもとにみんなで協力し、進んで準備に取り組んでいる。（主体的に取り組む態度）【観察】
10/27（水） 朝	<ul style="list-style-type: none"> ●「6年生へサプライズをしよう！」の実施 ・ 実践を振り返り、感想を交流する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の態度を振り返ったり、友達のよいところに気付いたりできるようにする。 	◎「6年生へのサプライズをしよう！」の目的を考え、提案理由を意識しながら友達と協力して活動している。 (思考・判断・表現) 【観察、振り返りカード】

8 板書計画

<p>【提案理由】</p> <p>6年生はコロナでいろいろな行事ができなくなりました。楽しみにしていたことや、やりたかったことがたくさんあると思うけど、そんな中でも責任をもって仕事をしたり、下級生に優しくしてくれたりして、学校のためにがんばってくれている。今回は、学校で陸上記録会をすることが分かったので、6年生にサプライズをして、励ましたいし喜んでほしいと思ったから。</p>	<p>第6回 学級会</p> <p>議題 6年生へのサプライズをどのようにするか決めよう！</p> <p>話し合うこと 『応援団』と『三原色をおどる』のメリット、デメリットを話し合っていて、6年生へのサプライズをどのようにするか決めよう。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;"> 【決まっていること】 ・ 10月27日（水） 8時30分～40分 ・ 5年生で行う（何をするかは各クラスで決める） ・ ベランダには「ありがとう」の文字 ・ 準備は4日間 </td> <td style="text-align: center;"> 応援団 メリット デメリット </td> <td style="text-align: center;"> 三原色をおどる メリット デメリット </td> </tr> </table>	【決まっていること】 ・ 10月27日（水） 8時30分～40分 ・ 5年生で行う（何をするかは各クラスで決める） ・ ベランダには「ありがとう」の文字 ・ 準備は4日間	応援団 メリット デメリット	三原色をおどる メリット デメリット	<p>【ゴールイメージ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 6年生全員が笑顔になる。「うれしかった」「楽しい思い出ができた」「陸上競技会がんばるぞ」と思えるようにする。 ・ 自分達も笑顔になる。「やりきった！」「やってよかった！」と思えるようにする。そのために計画、準備から気持ちを込めて取り組む。 <p style="text-align: center;">【ホワイトボード】</p>
【決まっていること】 ・ 10月27日（水） 8時30分～40分 ・ 5年生で行う（何をするかは各クラスで決める） ・ ベランダには「ありがとう」の文字 ・ 準備は4日間	応援団 メリット デメリット	三原色をおどる メリット デメリット			

【大型モニターへの投影】